

中学生向けコミュニケーション学習ビデオ
新学習指導要領準拠・中学校「国語」「特別活動」

監修：
文部科学省・国立教育政策研究所
総括研究官 有元秀文

中学生向け VHS・DVD 【約22分】

自分の考えを伝えよう スピーチの仕方



中学生向け VHS・DVD 【約20分】

話し合って考えよう ディスカッションの仕方



指導者向け VHS・DVD 【約19分】 ■文部科学省選定

話す力・聞く力を育てる



企画意図

平成24年度・新学習指導要領では、子供たちの「生きる力」を育てるという理念のもと、思考力、判断力、表現力などの育成が重視されています。グローバル化が進み、今後ますます世界を相手に生きていかなければならない子供たちにとって、相手が納得する方法で、論理的にはっきり自分の意見を述べるのが、一層重要になっています。このビデオでは、こうした現状を踏まえ、中学生向け2作品では①上手なスピーチ②対話と対論(批判・反論の仕方)、指導者向け1作品では、教師がどのように活気ある議論を導くかのポイントを描いています。この3作品の構成で、コミュニケーション力の向上を目指しています。

映学社作品

作品の概要

- ①与えられたテーマについて、中学生自身が自分の考えをまとめる — 福島第一原発の事故をテーマに、【意見】→【理由】→【予想される批判と反論】→【まとめ】という流れで、自分の考えを用紙にまとめる。
- ②スピーチをする — まとまった自分の意見を、みんなの前で発表する。聞く側は、メモを取るようにする。
- ③ペアトークする — 発表者のスピーチを聞いたら、友だちとペアになって、自分はどう思ったかを話し合う。

- ④批判と反論 — 発表者に対して、話し合いまとまった考えを投げかける。それに対して発表者も反論し、議論をし、テーマに対するお互いの考えを深めていく。

ライブラリー価格 **¥45,000** (本体価格)

学校価格 (中学校のみ) **¥18,000** (本体価格)

作品の概要

- ①話し合うテーマについて理解する — 福島第一原発の事故を取り上げ、その事柄に関する知識を深める。
- ②自分の考えをまとめる — 【意見】→【理由】→【予想される批判と反論】→【まとめ】という流れで、自分の考えを用紙にまとめていく。
- ③ディスカッションをする — 大きく3つの意見に分かれた考えをもとに、それぞれが同意した考えのグループにわかれ「金魚鉢方式」で議論をする。

- ④周りの意見も聞く — ディスカッションを聞いていたオブザーバー(周りの人)も、議論の展開についてはどう思ったか、最後に発表する。

ライブラリー価格 **¥45,000** (本体価格)

学校価格 (中学校のみ) **¥18,000** (本体価格)

作品の概要

「福島第一原子力発電所事故」をテーマに、子供たちにスピーチやディスカッションをさせる中で、教師がどのように議論を導いていくかを説明する。随所に監修者・有元先生による指導のアドバイスが挿入される。

- ①話し合いのテーマを決める — どのようなテーマが的確で、どう子供たちに意見をまとめさせるかを描く。
- ②スピーチ — スピーチをさせ、それに対する質問や批判を活発にさせる方法を、わかりやすく示す。

- ③ディスカッション — 子供たちに活気ある議論を進めさせ、どんな生徒でも考えを深め、意見を発言させる方法を示す。議論の際、先生が行うべき質問や助言、まとめの仕方も、わかりやすく説明する。

ライブラリー価格 **¥45,000** (本体価格)

学校価格 (中学校のみ) **¥18,000** (本体価格)

監修 文部科学省・国立教育政策研究所
総括研究官 有元 秀文
協力 東大和市立第五中学校/東京電力株式会社

企画・制作統括 高木裕己 演出 谷光 章
撮影 三橋博好/佐々木邦敏
ナレーター 中村久美 イラスト 正者 章子

制作・著作 株式会社 映学社

VHS・DVD [カラー] / 2012年・映学社作品

3巻セット価格

ライブラリー価格 **¥130,000** (本体価格)

学校価格 (中学校のみ) **¥ 50,000** (本体価格)